

(別紙様式2)

令和6年度文京区学童クラブ待機児童対策計画

令和5年5月1日時点の学童クラブ待機児童数

76 人

1 学童クラブの待機児童が発生している原因

区が進めてきた子育て支援施策の充実に伴い、子育て世代の転入が増加しており、小学生児童数も直近5年間は毎年3～5%の増加を続けている。また、学童クラブの需要に地域偏在があり都心区であるため、学童クラブの整備ができる建物等が限られているため、待機児童が生じている。

2 学童クラブの待機児童を解消するための対策

(1) 方針

学童クラブ需要の地域偏在を解消するため、定員を超過している学童クラブから、定員に余裕のある学童クラブへ待機者を均すことで、待機解消を図る。

(2) 具体策

定員の超過している学童クラブから、近隣の定員に余裕のある学童クラブまで、タクシーによる移動支援を行う。

3 「学童クラブの待機児童を解消するための対策」を講じることによる効果

学童クラブの不足している地域から定員に余裕のある学童クラブへの移動支援により放課後の居場所としての受入口が増え、地域偏在の課題をスピード感を持って解消することができる。

4 これまでの推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
小学生児童数	8,454	8,913	9,307	9,806	10,214
増減	—	459	394	499	408
登録児童数	1,598	1,634	1,675	1,834	1,866
増減	—	36	41	159	32
待機児童数	16	22	6	33	35
増減	—	6	▲ 16	27	2

5 今後の見込

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
小学生児童数	10,541	10,980	11,103	
増減	327	439	123	
登録児童数	1,937	2,095	2,125	
増減	71	158	30	
確保策の手法 (当該年度に新規で実施する手法)			学童クラブ待機者数は区内で地域偏在があるため、定員を超過している学童クラブと、定員に余裕のある学童クラブ間においてタクシー送迎を行い、待機児童解消をはかる。	
待機児童数	32	76	0	
増減	▲ 3	44	▲ 76	▲ 35